



ザ・パック株式会社

2025年12月期決算説明資料

2026年3月3日

目次

事業環境・トピックス	P. 3
1. 2025年12月期 決算実績	P. 4
2. 2026年12月期 業績予想	P.19
3. サステイナブル経営の進捗	P.23
4. 参考資料	P.27

事業環境・トピックス

事業環境

- ◆ 緩やかな景気回復が続く中で、インバウンド需要が国内消費を押し上げる効果は限定的。食料品などの慢性的な価格上昇により、個人消費の回復は力強さを欠く

トピックス

- ◆ 紙加工品事業が牽引し、売上高は過去最高を更新
- ◆ 株式会社光パックス石川を子会社化し、紙器のラインアップを拡充
- ◆ 製造設備・基幹システム・人材への先行投資を実施し、将来に向けた事業基盤を強化
- ◆ 安定的な配当政策を継続し、1株当たり配当金を増額
- ◆ 新・中期経営計画(2026-2030)を策定

1.2025年12月期 決算実績



実績サマリー

売上高は過去最高を更新、積極的な設備・人的投資により減益

(単位:百万円)

	2024年12月期	2025年12月期	
	実績	実績	前期比
売上高	101,461	103,125	1.6%
営業利益	8,009	7,207	△10.0%
経常利益	8,285	7,532	△9.1%
親会社株主に帰属する純利益	6,316	6,024	△4.6%
1株当たり当期純利益(円)※	111.17	107.13	△3.6%
1株当たり配当金(円)※	39.33	41.33	5.1%

- ◆ 紙加工品の販売が引き続き堅調に推移し、売上高は過去最高を更新
- ◆ 事業基盤強化を目的とした製造設備・基幹システム・人材への先行投資を実施し、減益
- ◆ 配当金は1株あたり2円増額

※2025年7月1日付で普通株式1株につき3株に株式分割を実施。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出

セグメント別実績

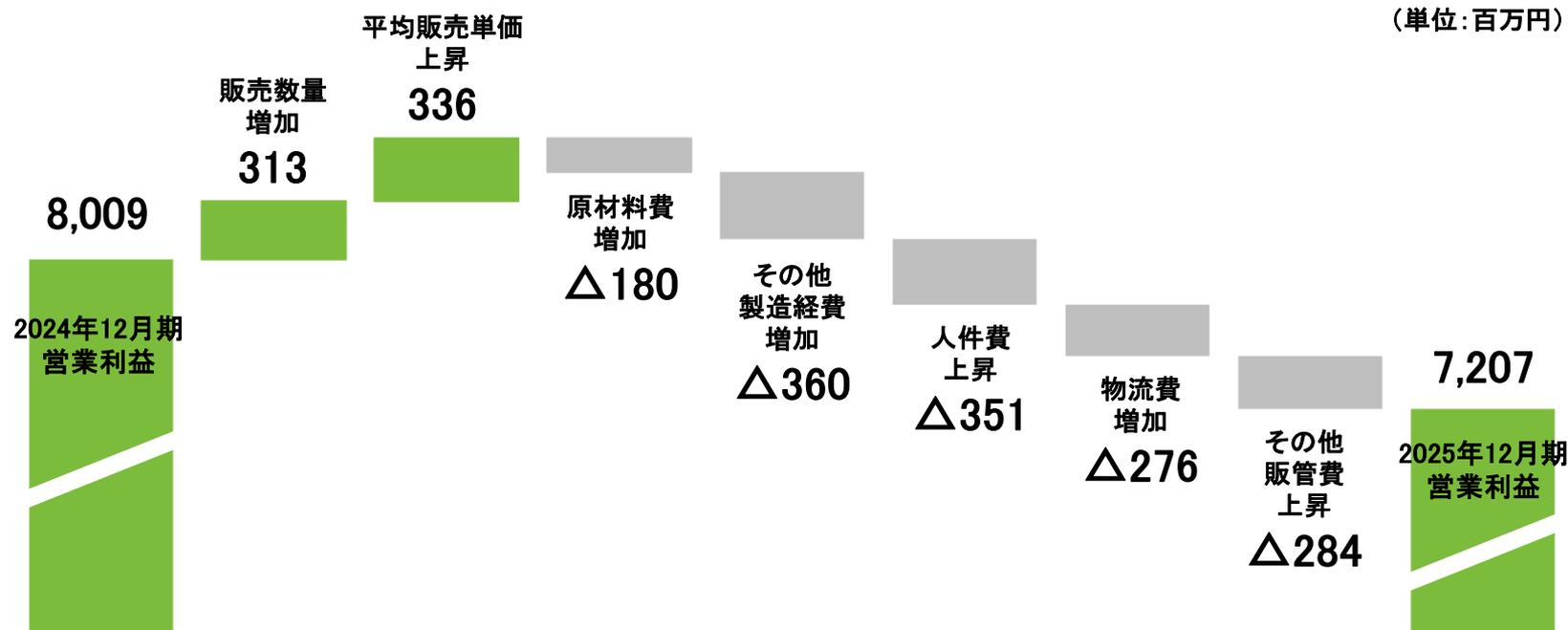
(単位:百万円)

	2024年12月期		2025年12月期		
	実績	構成比	実績	構成比	前期比
売上高	101,461	100.0%	103,125	100.0%	1.6%
紙加工品事業	73,114	72.1%	75,754	73.5%	3.6%
紙袋	32,214	31.8%	32,044	31.1%	△0.5%
紙器	25,882	25.5%	26,916	26.1%	4.0%
段ボール	13,027	12.8%	14,743	14.3%	13.2%
印刷	1,990	2.0%	2,049	2.0%	3.0%
化成品事業	13,499	13.3%	13,322	12.9%	△1.3%
その他	14,846	14.6%	14,048	13.6%	△5.4%
営業利益	8,009	100.0%	7,207	100.0%	△10.0%
紙加工品事業	7,168	89.5%	6,567	91.1%	△8.4%
化成品事業	933	11.7%	829	11.5%	△11.2%
その他	1,261	15.7%	1,199	16.6%	△4.9%
調整額	△1,354	△16.9%	△1,388	△19.2%	-

- ◆ 紙加工品事業が全体を牽引。特に紙器と段ボールの販売が堅調で、紙加工品全体を押し上げた
- ◆ その他事業は、PASシステムに係る用度品の販売が減少
- ◆ 設備や人的投資による販管費の上昇により、各セグメントにおいて営業利益が減少

営業利益増減要因

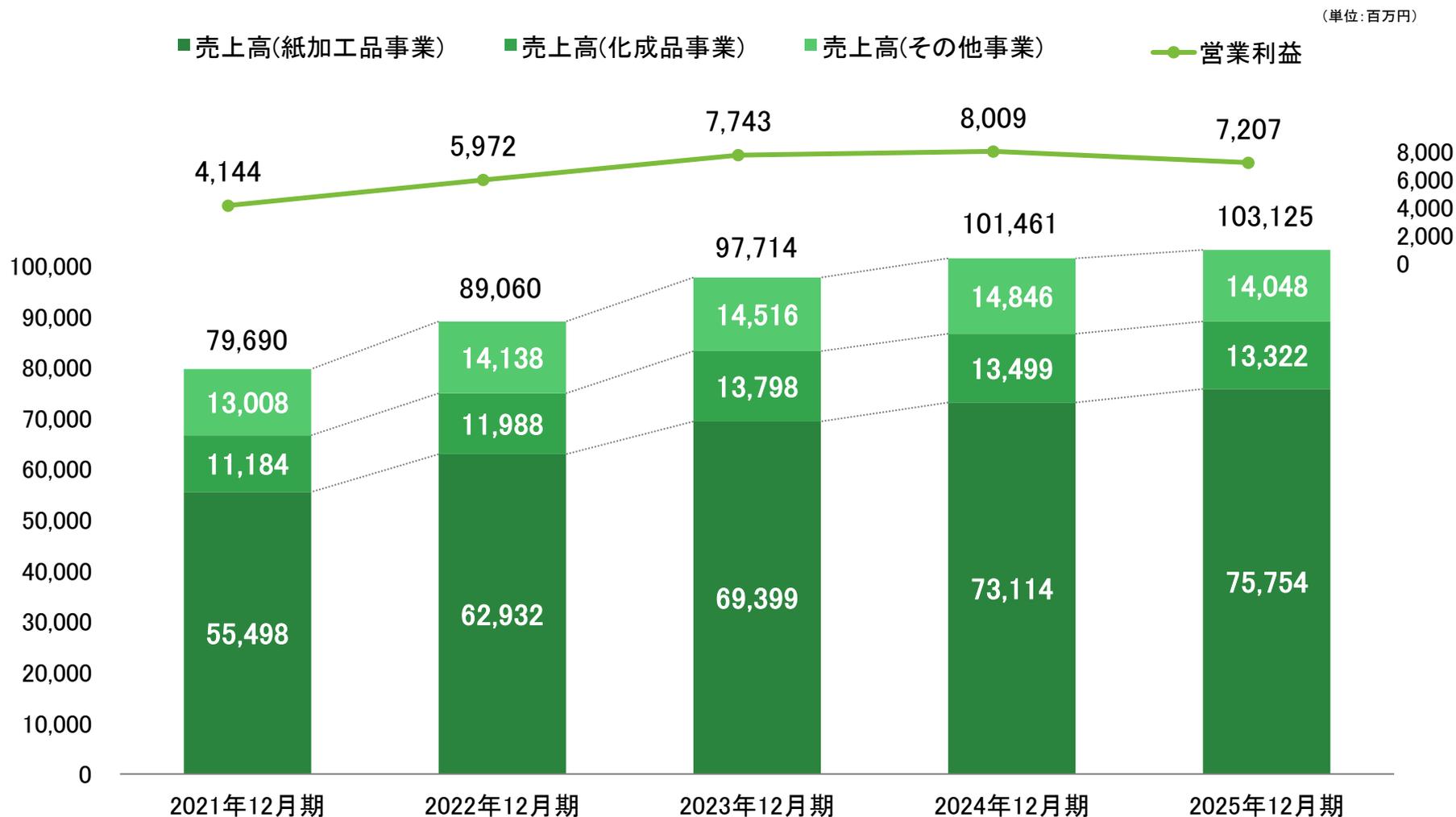
数量・単価は堅調も、先行投資により営業利益は減少



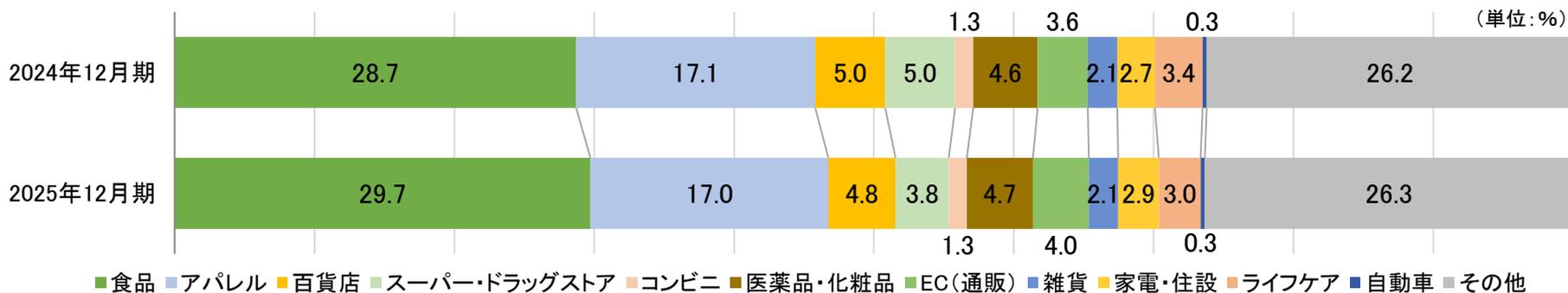
- ◆ 紙加工品の販売数量および販売単価は上昇し増収に寄与したものの、効果は当初想定を下回った
- ◆ 価格適正化および付加価値提案の推進により紙加工品の平均販売単価が上昇(紙袋:0.8%、紙器:0.6%、段ボール:1.4%上昇)
- ◆ その他製造経費増加の主な要因は、供給力・生産性向上を目的とした機械設備投資の減価償却によるもの
- ◆ 物流費増加の主な要因は、物流機能拡張を目的とした外部倉庫の増加によるもの
- ◆ その他販管費上昇の主な要因は、基幹システム刷新による投資の減価償却によるもの

セグメント別実績の推移

紙加工品が売上高を牽引



業種別売上高構成



(単位: 百万円)	2024年12月期		2025年12月期		
	実績	構成比	実績	構成比	前期比
食品	29,160	28.7%	30,639	29.7%	5.1%
アパレル	17,390	17.1%	17,531	17.0%	0.8%
百貨店	5,103	5.0%	4,956	4.8%	△2.9%
スーパー・ドラッグストア	5,089	5.0%	3,917	3.8%	△23.0%
コンビニ	1,158	1.3%	1,311	1.3%	13.2%
医薬品・化粧品	4,632	4.6%	4,866	4.7%	5.1%
EC(通販) ※	3,663	3.6%	4,131	4.0%	12.8%
雑貨	2,151	2.1%	2,199	2.1%	2.2%
家電・住設	2,778	2.7%	3,015	2.9%	8.5%
ライフケア	3,454	3.4%	3,141	3.0%	△9.1%
自動車	298	0.3%	312	0.3%	4.7%
その他	26,578	26.2%	27,103	26.3%	2.0%

- ◆ 食品は、土産菓子市場向けパッケージや外食産業のテイクアウト用パッケージ、中食市場向け食品容器の販売が好調
- ◆ 百貨店は、国内消費の伸び悩みや店舗改装等により販売が減少
- ◆ 業界再編が進む中、スーパー・ドラッグストアは、個別案件の影響により減少
- ◆ コンビニは、食品用パッケージの販売が好調
- ◆ ECは、紙製宅配袋、その他配送用パッケージの供給体制強化によりシェアが拡大
- ◆ 家電・住設は、輸出向け梱包材や家電用梱包材の販売が回復
- ◆ ライフケアは、ベビー用紙おむつのパッケージ販売が減少

※「EC(通販)」はモール型ECを対象としており、自社サイト型のECについてはそれぞれの業種の売上に計上

紙加工品事業

＜成長市場ニーズに対応する供給能力増強により増収＞

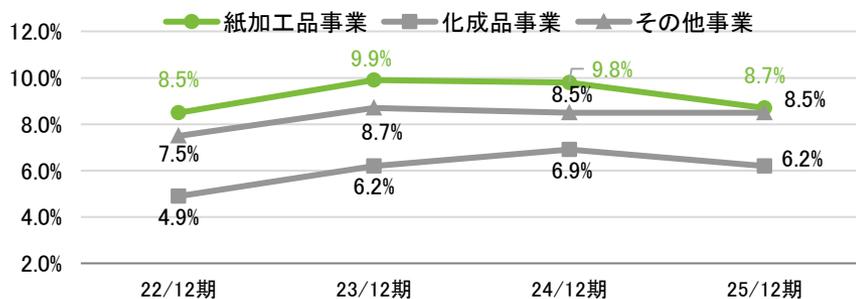
業界環境

- ◆ 小売・食品・ECなど紙加工品を使用する主要顧客業界の包装需要は、全体として底堅く推移
- ◆ 物販系EC市場は堅調に推移し、配送用途の段ボール需要が引き続き増加
- ◆ 企業の環境対応(脱プラ・軽量化など)への要請が高まり、高付加価値の紙加工品ニーズが拡大

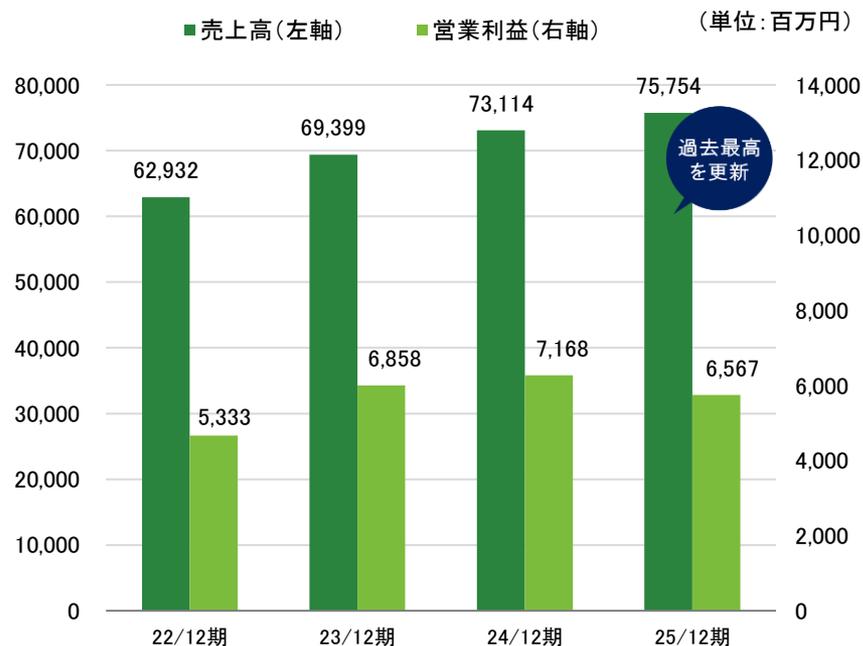
取り組み

- ◆ 設備投資および生産性向上による供給能力増強
- ◆ 幅広い市場のニーズをカバーする商品ラインアップ拡充
- ◆ 紙化需要に対し、設計力を活かした積極提案を展開

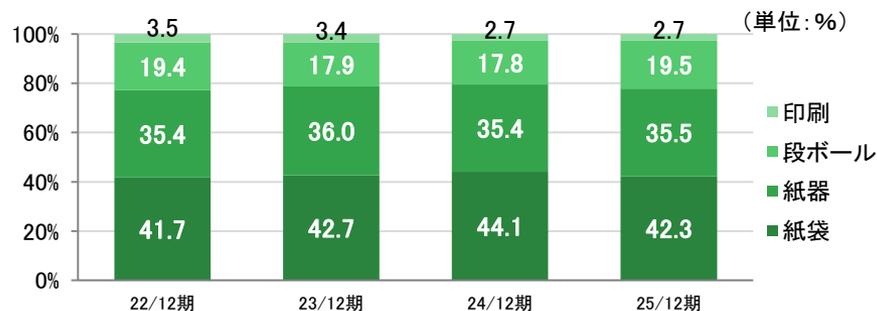
営業利益率の推移



売上高・営業利益の推移



売上高構成比の推移



紙加工品事業(紙袋)

＜外部環境の影響を受け、国内向け販売が低調＞

業界環境

- ◆ 国内では物価高による消費者マインド低下や、訪日客数鈍化によるインバウンド需要低下の影響を受け、需要が減少
- ◆ 一方で、海外市場向け資材の販売数は増加傾向
- ◆ 環境配慮の高まりを背景に、多様な業種で紙製宅配袋や食品一次包装などのニーズが拡大

取り組み

- ◆ 設備投資および生産性向上による供給能力増強
- ◆ サプライチェーンの拡充による競争力強化
- ◆ グループ間協業による供給体制の進化
- ◆ 多様なニーズに対応する紙製宅配袋の開発

開発製品の一例

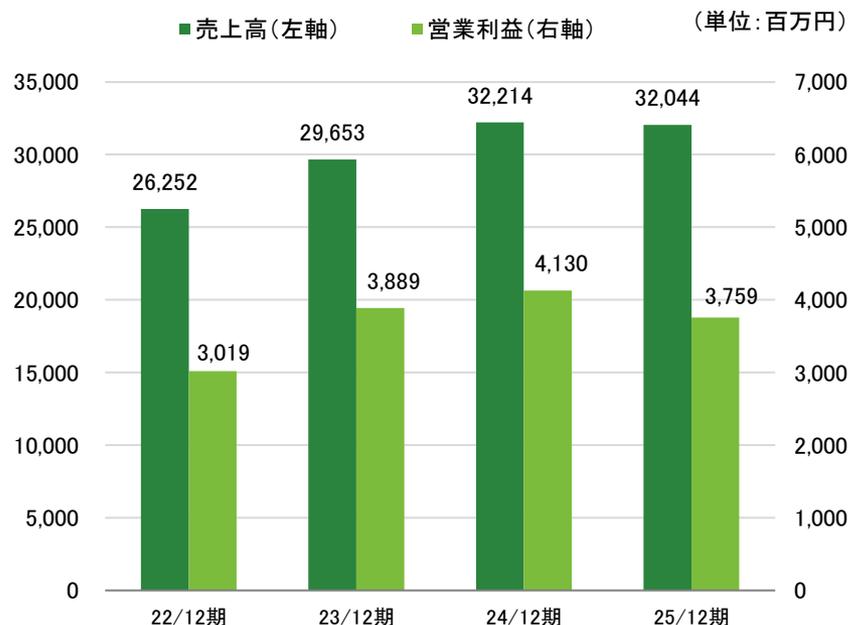


▲不要になった服を混ぜ込んだ「古着混抄紙」

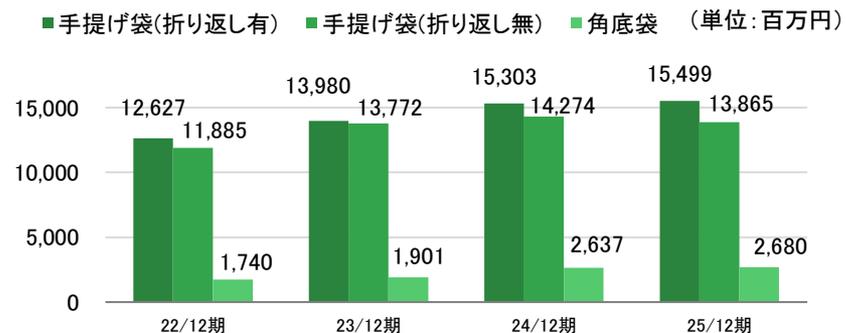


▲自動包装機対応「紙製宅配袋」

売上高・営業利益の推移



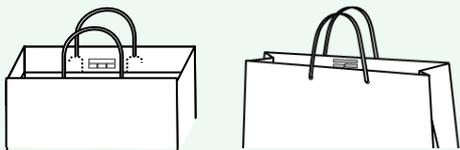
手提げ袋品種別売上高推移



【参考】紙袋の品種一例

■手提げ袋(折り返し有り)

袋上部が折り返しになっている袋。
折り返すことで袋が丈夫になる為
再利用していただける可能性が高い



■手提げ袋(折り返し無し)

袋上部の天面がギザ刃でカットされている袋。大量生産に向いており、コストメリットが高い



■角底袋・平袋

宅配や食品一次包装用途で使用されることが多い。用途に応じて両面テープを付けることや耐油機能を付加することが可能



紙加工品事業(紙器)

＜食品包装用途の販売が堅調＞

業界環境

- ◆ 物価高による消費マインドの低下に伴い、土産菓子市場では、付加価値向上とコストダウンの両立が課題
- ◆ 人手不足が深刻化し、紙器の組立てや商品セットアップ等のアウトソーシング需要が増加
- ◆ PFAS規制に対応する素材・加工のニーズが増加

取り組み

- ◆ 光パックス石川のグループ化により、紙器ラインアップ拡充と土産菓子市場のシェア拡大
- ◆ 食品用紙製一次容器の拡販に向け、設備投資や技術開発を強化(PFAS規制対応)
- ◆ 紙器の組立てや商品詰め作業等の顧客の人手不足を補うサービスを提供する体制を構築、拡充

開発製品の一例

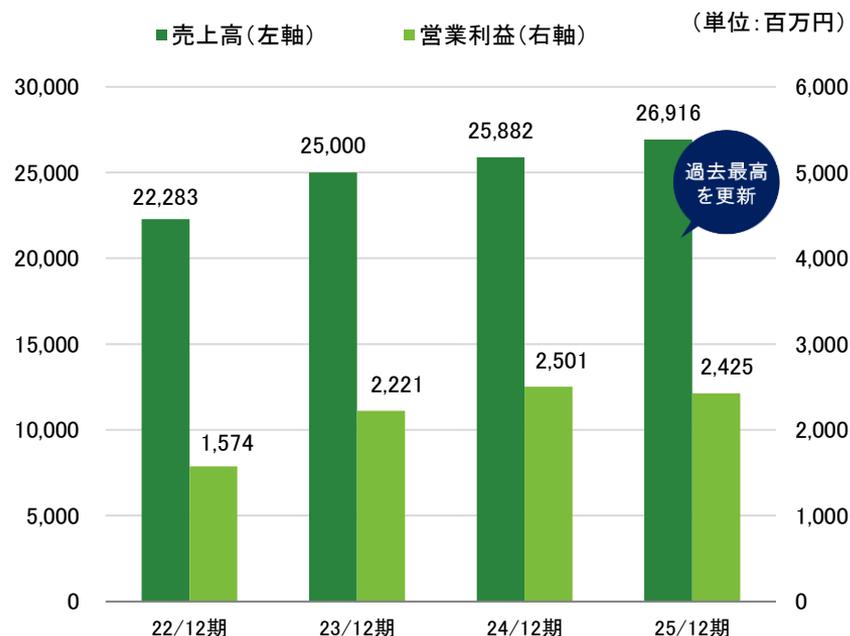


▶光パックス石川のグループ化により内製が可能となった「貼り箱」

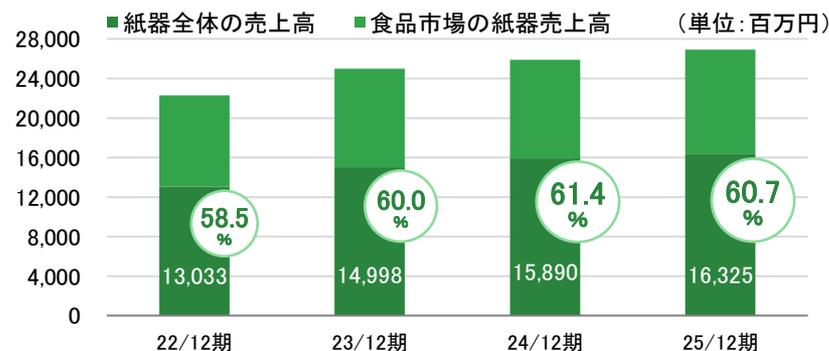


▶海藻由来の原料を活用した次世代型耐油コーティング「カイソナル®加工」

売上高・営業利益の推移



食品市場向け売上高・構成比推移



紙加工品事業(段ボール)

<EC・輸送梱包需要の増加を取り込み、シェア拡大>

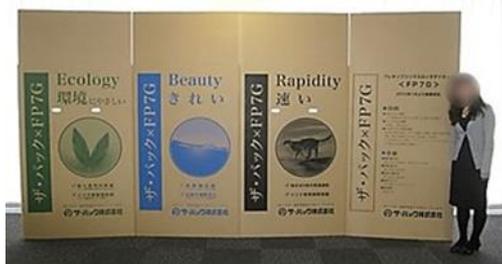
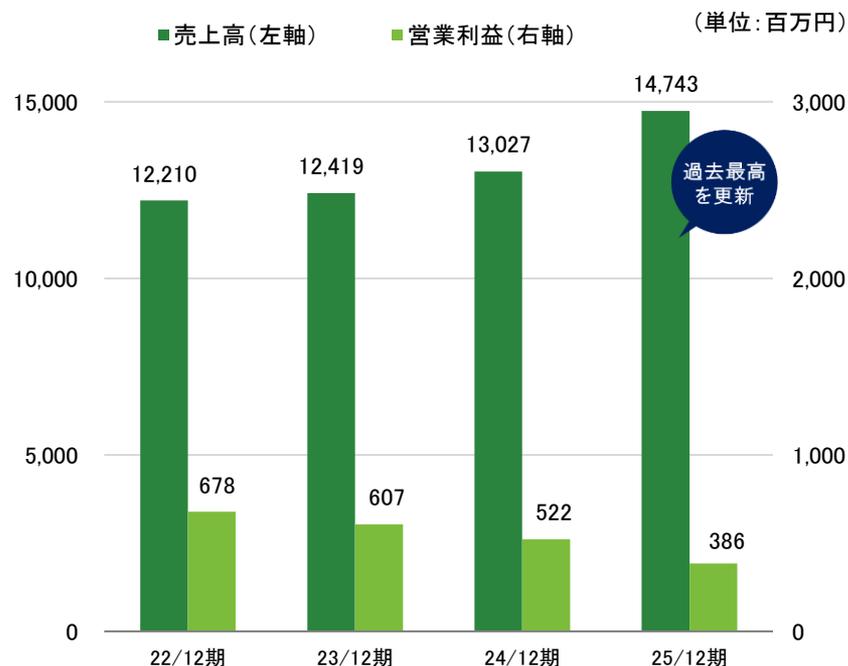
業界環境

- ◆ 物販系EC市場は継続的に拡大し、配送・梱包用途の段ボール需要は堅調に推移
- ◆ 企業の環境配慮対応が進み、緩衝材および輸送梱包を中心にプラスチック素材から段ボール素材への代替が加速
- ◆ 高付加価値品の海外輸出増に伴い、輸出梱包向けの段ボール需要が拡大

取り組み

- ◆ EC市場向け配送資材の供給能力を強化
- ◆ BtoC向け配送資材の開発、提案に注力
- ◆ プラスチック製緩衝材の代替となる海外市場向け段ボール製緩衝材および輸送包装の開発、提案を強化
- ◆ 食品市場向けに配送箱を含めた複合提案を強化

売上高・営業利益の推移



▲国内最大級の段ボール加工商品
「超大型段ボール」



▲特殊な素材構成で、柔軟性と緩衝性を備えた
ALL紙製クッション付き封筒「CC-PACK®」



▲プラスチック製緩衝材に代わる
設計力を駆使し設計された段ボール製パッド



▲高精細フレキソ印刷機を使って
印刷した配送段ボール

化成品事業

＜軟包装の販売が順調に推移＞

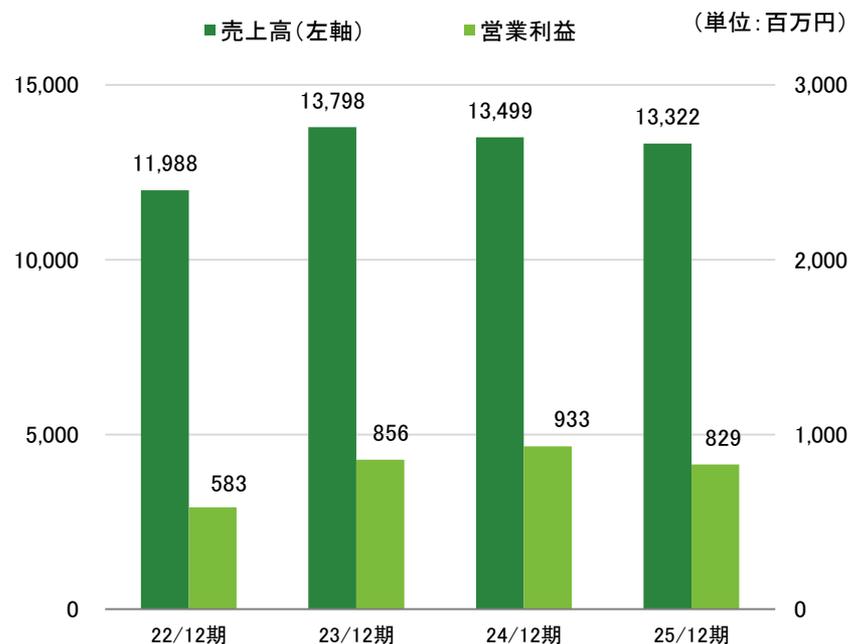
業界環境

- ◆ 環境対応への社会的要請が継続。持ち帰り用手提げ袋の脱プラスチック化や環境配慮素材への切替えが進む
- ◆ ベビー用紙製衛生用品は、海外市場ではローカルブランド台頭によりコスト競争が激化、国内市場では人口減の影響で需要が伸び悩み
- ◆ 中食・惣菜市場の需要拡大を背景に、食品向け軟包装のニーズが増加

取り組み

- ◆ 環境負荷が低い最新の高精細フレキソ印刷機を活用し、美粧性の優れたパッケージを提供推進
- ◆ 食品市場の軟包装の販売強化に向け、供給体制を整備
- ◆ 大人用衛生用品、ペット用品等、新市場に向けた軟包装の提案を強化

売上高・営業利益の推移

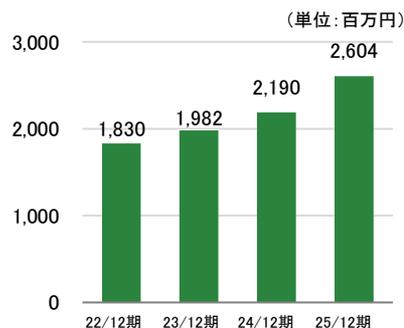


開発製品の一例

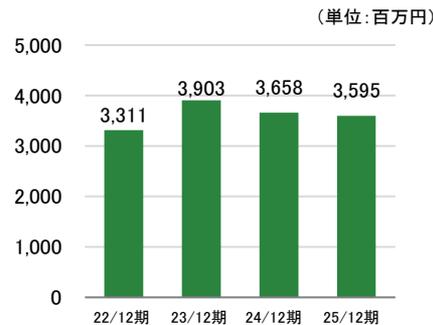


▲完全フィルムレスの
バリア機能付き紙製軟包装

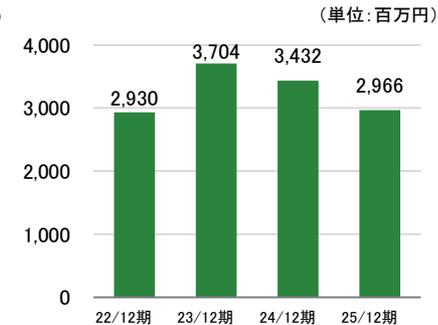
軟包装の売上高推移



プラスチック製手提げ袋の売上高推移



紙製おむつ用外装袋の売上高推移



その他事業 (PAS・縫製品・その他品目)

＜PASの売上減少により低調＞

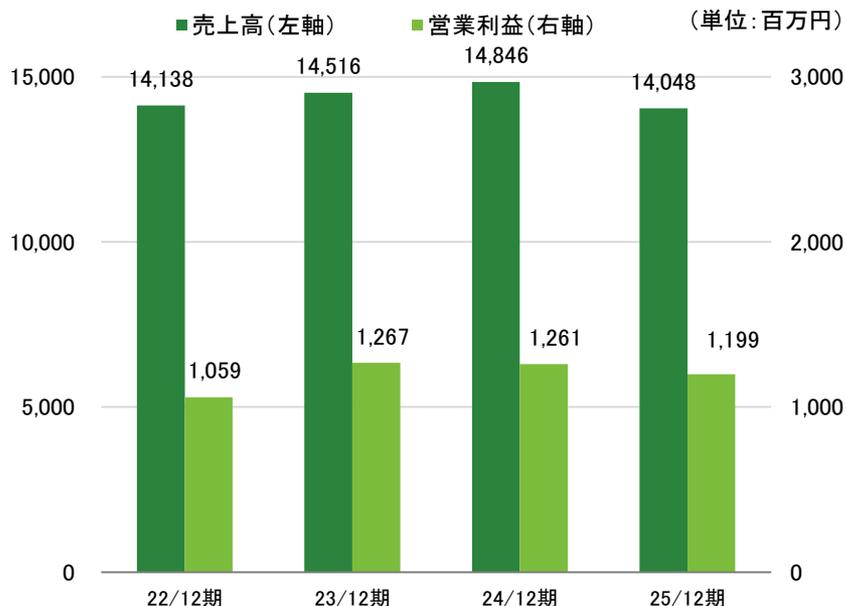
業界環境

- ◆ ブランド価値向上や集客を目的とし、ギフト用ラッピング資材や販促用資材の縫製品需要が高まる
- ◆ 百貨、量販店で使用される用度品・事務用品の売上が減少

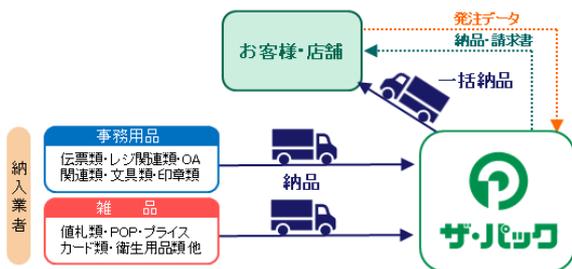
取り組み

- ◆ 再生素材や自然由来の素材を使用した環境負荷の低い縫製商品の提案を強化
- ◆ 百貨店・専門店向けPAS (Pack Assortment Service System※)においては、物流効率を改善
※用度・消耗品等の一括納品代行システム

売上高・営業利益の推移



PAS (Pack Assortment Service System)



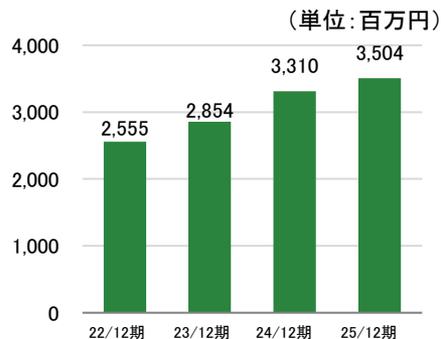
▲一括納品による物流の合理化でCO₂削減にも貢献

環境配慮型縫製商品の一例

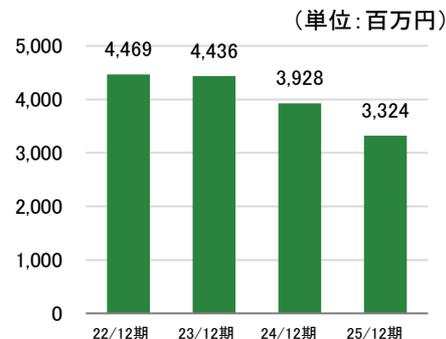


▲工場で発生したコットンやポリエステル
の断裁くずなどをリサイクルした素材
「リサイクルテトロンコットン」

縫製商品の売上高推移



PASの売上高推移



貸借対照表

(単位:百万円)

	2024年12月期	2025年12月期
	実績	実績
資産	103,292	104,212
流動資産	60,043	61,667
固定資産	43,248	42,544
有形固定資産	30,166	30,352
無形固定資産	3,384	4,310
投資その他の資産	9,697	7,881
負債	28,806	27,214
流動負債	27,766	25,920
固定負債	1,040	1,294
純資産	74,485	76,997
株主資本	71,437	74,186
その他の包括利益累計額	3,022	2,791

キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

主な項目	2024年12月期	2025年12月期
	実績	実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,101	6,862
税金等調整前当期純利益	9,160	8,859
減価償却費	2,416	2,940
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,436	3,514
有形固定資産の取得による支出	△4,768	△2,794
無形固定資産の取得による支出	△919	△1,157
投資有価証券の取得による支出	△609	△30
投資有価証券の売却による収入	988	1,777
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,041	△3,553
配当金の支払額	△2,032	△2,329
現金及び現金同等物期末残高	16,656	23,551

- ◆ 積極的な製造設備投資や基幹システム刷新に係る減価償却費が増加
- ◆ 政策保有株式の売却による収入を計上
- ◆ 安定的な配当政策を維持

2.2026年12月期業績予想



業績予想

紙加工品事業を中心に、複合販売を加速

(単位:百万円)

	2025年12月期	2026年12月期	
	実績	業績予想	前期比予想
売上高	103,125	106,000	2.8%
営業利益	7,207	7,500	4.1%
経常利益	7,532	7,700	2.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,024	5,300	△12.0%
1株当たり当期純利益(円)※	107.13	95.35	△11.0%
1株当たり配当金(円)※	41.33	42.00	1.6%

- ◆ 紙加工品事業を中心に、成長領域でのシェア拡大を見込み増収を計画
- ◆ 原材料価格上昇圧力はあるものの、価格の適正化を推進し、前期までの投資効果により生産性が向上
- ◆ 総還元性向を重視し、配当性向の見直しと自己株式の取得を実施予定

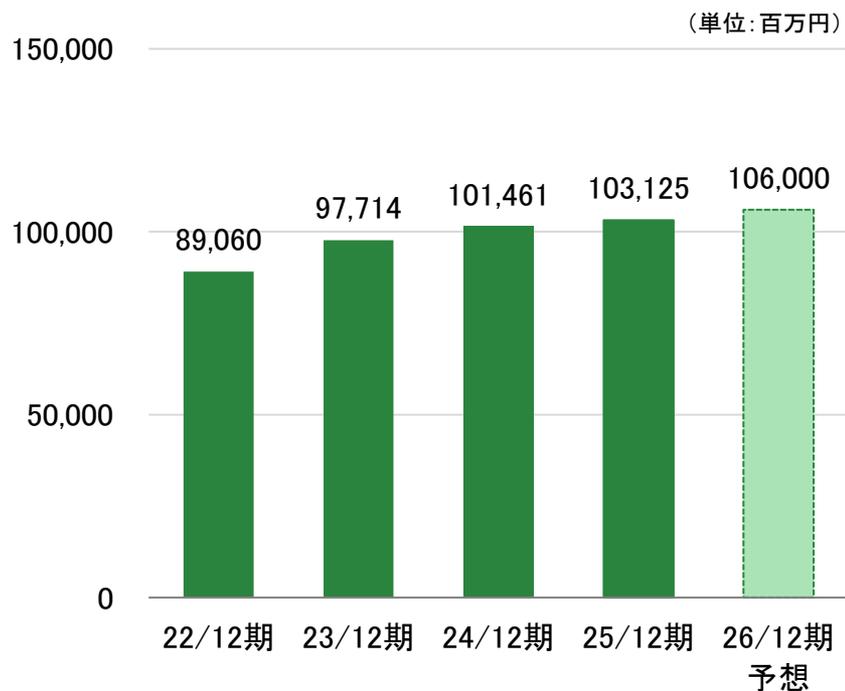
※2025年7月1日付で普通株式1株につき3株に株式分割を実施。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出。(記載の配当金額は、期末の1株当たり配当金)

連結業績推移

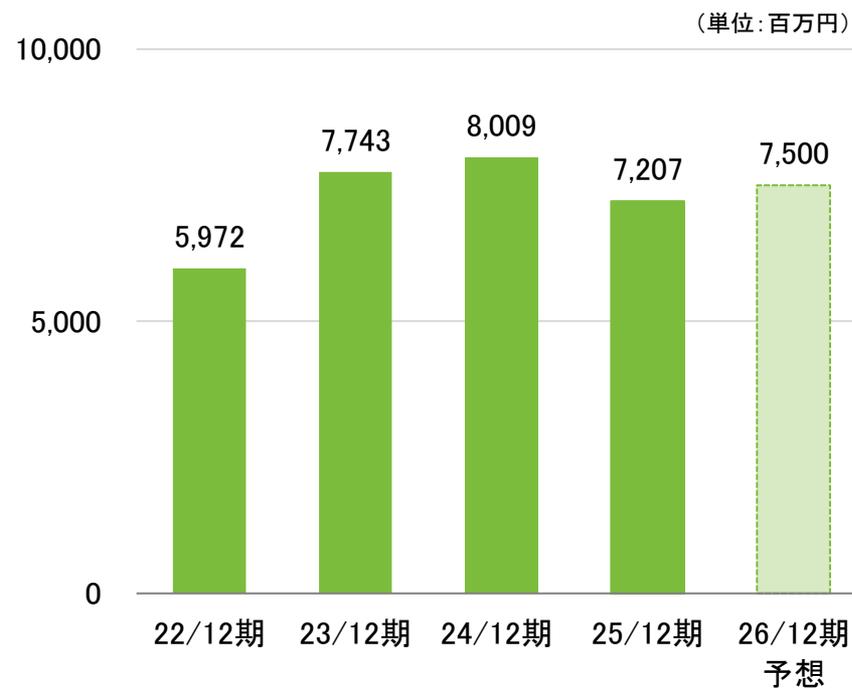
(単位:百万円)

	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期	2025年12月期	2026年12月期 予想
売上高	89,060	97,714	101,461	103,125	106,000
営業利益	5,972	7,743	8,009	7,207	7,500

売上高の推移

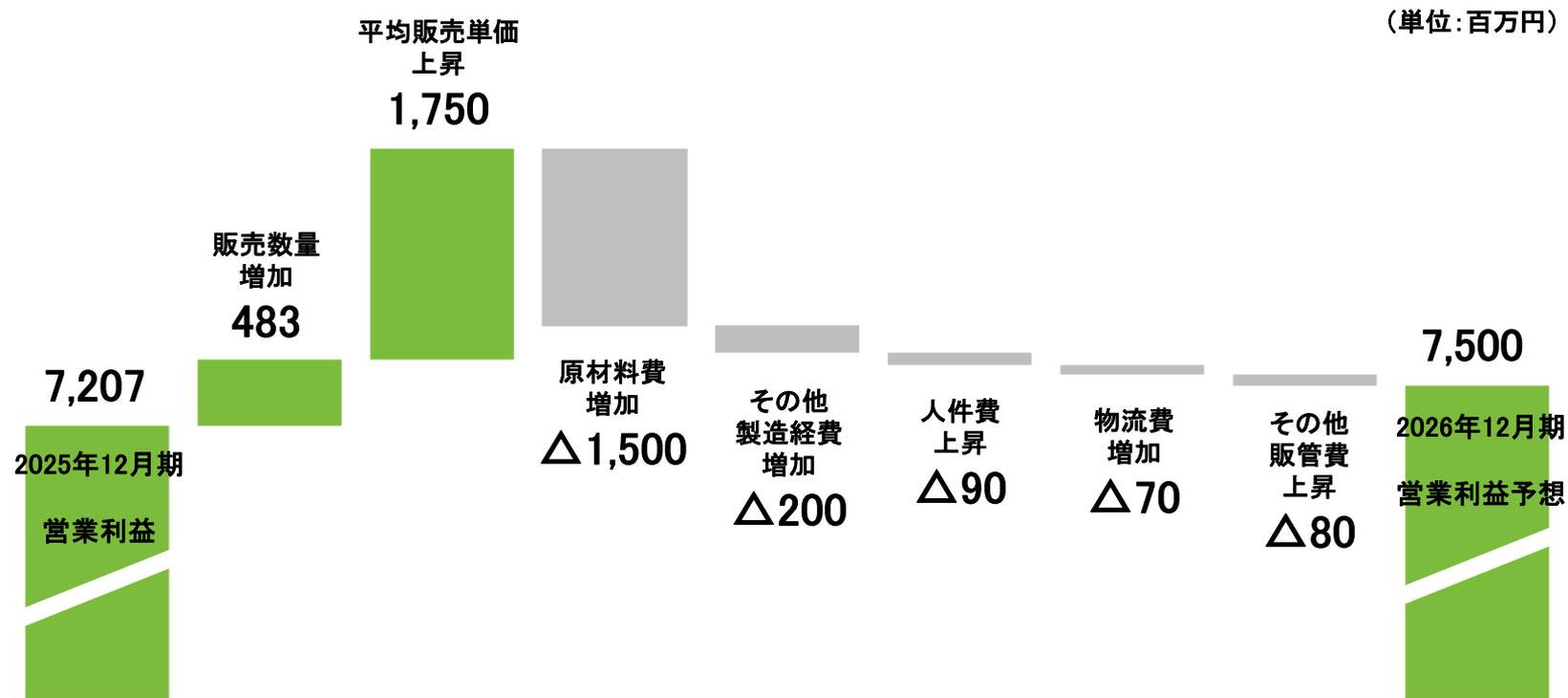


営業利益の推移



営業利益予想増減要因

複合販売と付加価値提案と併せ、価格適正化を推進



- ◆ 商品ラインアップ拡充と複合提案の効果により、新市場開拓・シェアを伸ばしを販売数量は増加見込み
- ◆ 原材料費の高騰はあるものの付加価値提案と複合販売の強みを活かし、価格を適正化。平均販売単価は上昇見込み
- ◆ 機械設備等の投資効果により供給能力と生産性が向上し、シェア拡大と利益増加に貢献

3.サステイナブル経営の進捗



サステイナブル経営の進捗

マテリアリティKPI

◆ 2030年度までの達成を目標として5つのKPIを策定。アクションプランと直近4年間の実績は以下の通り

マテリアリティ	KPIとアクションプラン	2030年度目標と過去4年実績												
<p>①環境に配慮した商品企画及び技術開発</p>	<p>◆ FSC®商品(紙袋・紙器・段ボール)の売上高※1 構成比を50%以上にする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パッケージの紙化提案を強化する ・FSC®認証取得サプライヤーの拡充を行う ・紙を基材とした新素材・新製品の開発を加速させる <p>※1売上高 = ザ・パック単体の紙加工品事業全体 (FSC® C020517)</p> <p><2025年度実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2025年12月末時点販売額138.3億円(前期比3.6%) ・食品市場向け販売額56.4億円(前期比2.4%) 	<table border="1"> <caption>FSC®商品売上高構成比</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>構成比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2022年</td> <td>17.4%</td> </tr> <tr> <td>2023年</td> <td>20.2%</td> </tr> <tr> <td>2024年</td> <td>21.1%</td> </tr> <tr> <td>2025年</td> <td>21.5%</td> </tr> <tr> <td>2030年 (KPI)</td> <td>50.0%</td> </tr> </tbody> </table>	年	構成比	2022年	17.4%	2023年	20.2%	2024年	21.1%	2025年	21.5%	2030年 (KPI)	50.0%
年	構成比													
2022年	17.4%													
2023年	20.2%													
2024年	21.1%													
2025年	21.5%													
2030年 (KPI)	50.0%													
<p>②事業活動全体における環境負荷の低減</p>	<p>◆ CO₂排出量(Scope1+2)を2018年度比で46%削減する(2018年度16,662t→2030年度目標8,997t)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー効率の高い機械への切り替えを行う ・使用電力の再エネ化(再エネ購入を含む)を行う ・太陽光パネルの利用を拡大する <p><2025年度実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内4工場CO₂排出原単位1.66g-CO₂/加工高円(前期比-2.35%)※加工高1円あたりのCO₂排出量で、売上や生産量に影響されない省エネ指標 	<table border="1"> <caption>CO₂排出量(Scope 1+2)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>排出量 (t)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2022年</td> <td>15,399</td> </tr> <tr> <td>2023年</td> <td>16,756</td> </tr> <tr> <td>2024年</td> <td>16,149</td> </tr> <tr> <td>2025年</td> <td>16,319</td> </tr> <tr> <td>2030年 (KPI)</td> <td>8,997</td> </tr> </tbody> </table>	年	排出量 (t)	2022年	15,399	2023年	16,756	2024年	16,149	2025年	16,319	2030年 (KPI)	8,997
年	排出量 (t)													
2022年	15,399													
2023年	16,756													
2024年	16,149													
2025年	16,319													
2030年 (KPI)	8,997													

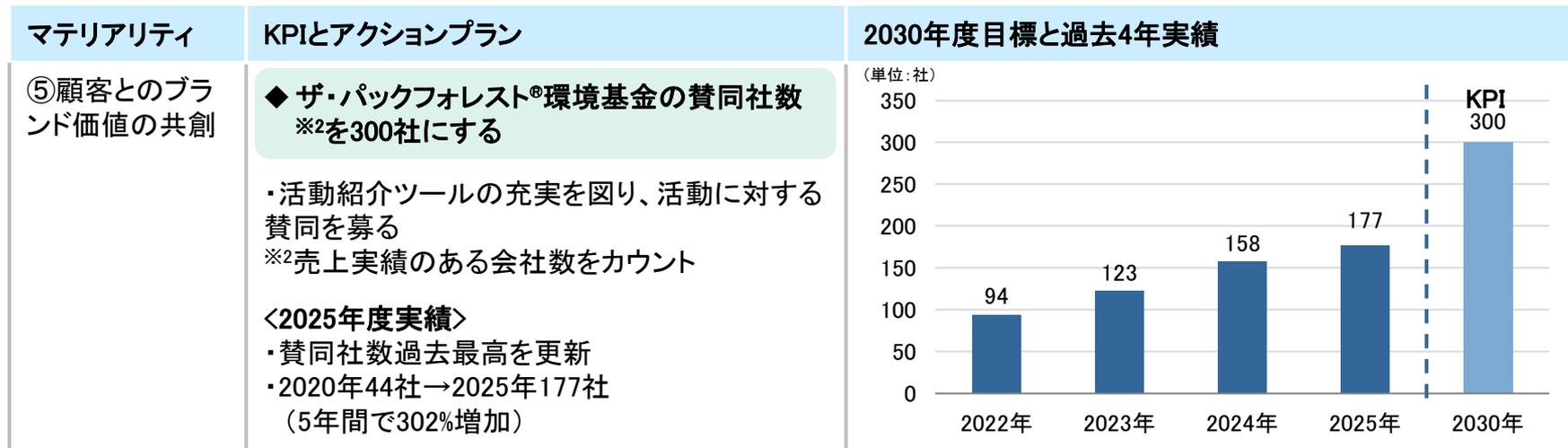
サステイナブル経営の進捗

マテリアリティKPI

マテリアリティ	KPIとアクションプラン	2030年度目標と過去4年実績																		
<p>③自然保護と環境保全への貢献</p>	<p>◆ザ・パックフォレスト®環境基金活動の年間活動回数を15回、参加人数を500人にする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動地の新規開拓により実施可能回数を増やす ・地域住民への周知活動を強化し一般参加者へ募集をかける ・顧客招致活動を強化する <p><2025年度実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・和歌山県に当社10カ所目となる植林地を契約 ・一般ボランティアはコロナ禍以降最大となる75人が参加(前期比66%増加) 	<table border="1"> <caption>年間活動回数と年間参加人数</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>年間活動回数 (回)</th> <th>年間参加人数 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2022年</td> <td>4</td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>2023年</td> <td>9</td> <td>253</td> </tr> <tr> <td>2024年</td> <td>8</td> <td>230</td> </tr> <tr> <td>2025年</td> <td>8</td> <td>273</td> </tr> <tr> <td>2030年 (KPI)</td> <td>15</td> <td>500</td> </tr> </tbody> </table>	年	年間活動回数 (回)	年間参加人数 (人)	2022年	4	111	2023年	9	253	2024年	8	230	2025年	8	273	2030年 (KPI)	15	500
年	年間活動回数 (回)	年間参加人数 (人)																		
2022年	4	111																		
2023年	9	253																		
2024年	8	230																		
2025年	8	273																		
2030年 (KPI)	15	500																		
<p>④社員が活躍できる多様な働き方の推進</p>	<p>◆管理職(課長以上)に占める女性の割合を15%以上にする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規学卒採用に占める女性の割合を35%以上にする ・女性が長く働ける制度や環境を整備していく <p><2025年度実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2025年4月入社新卒採用 女性割合41.2% ・大阪市女性活躍リーディングカンパニー三つ星認証取得 	<table border="1"> <caption>管理職(課長以上)に占める女性の割合</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2022年</td> <td>6.7%</td> </tr> <tr> <td>2023年</td> <td>6.3%</td> </tr> <tr> <td>2024年</td> <td>7.2%</td> </tr> <tr> <td>2025年</td> <td>8.8%</td> </tr> <tr> <td>2030年 (KPI)</td> <td>15.0%</td> </tr> </tbody> </table>	年	割合 (%)	2022年	6.7%	2023年	6.3%	2024年	7.2%	2025年	8.8%	2030年 (KPI)	15.0%						
年	割合 (%)																			
2022年	6.7%																			
2023年	6.3%																			
2024年	7.2%																			
2025年	8.8%																			
2030年 (KPI)	15.0%																			

サステイナブル経営の進捗

マテリアリティKPI



ステークホルダーとのコミュニケーション

投資家とのコミュニケーション

- ◆機関投資家に対する丁寧な個別対応
- ・東京パッケージラボへの積極的な招致

(単位:件)

	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
個別面談	34	19	39	29	29
ラボ案内	1	1	6	6	4

- ◆個人投資家に対する施策も検討中

統合報告書・サステナビリティレポートの発行



統合報告書2025



https://www.thepack.co.jp/dcms_media/other/integratedreport2025.pdf

サステナビリティレポート2025



https://www.thepack.co.jp/dcms_media/other/sustainabilityreport2025.pdf

4.参考資料



会社概要

商号	ザ・パック株式会社（英文：THEPACKCORPORATION）
設立	1952年5月（1991年9月上場：2022年4月東証プライム市場）
本社所在地	大阪府大阪市東成区東小橋2丁目9-3
事業内容	紙袋、紙器、段ボール製品、化成品パッケージの企画・製造・販売
役員	代表取締役社長 仲村直樹 他取締役7名(社外3名) 監査役4名(社外2名)
従業員数	連結1,223名(単体850名)
グループ企業	連結子会社9社(国内、米国、中国) ※2026年1月1日付で日幸印刷株式会社を吸収合併しました
取引銀行	三菱UFJ銀行、三井住友銀行、三菱UFJ信託銀行、三井住友信託銀行、みずほ銀行
主要株主	森田記念福祉財団11.24%、日本マスタートラスト信託銀行(信託口)6.93%、自社取引先持株会6.90%、ビービーエイチフォーティエリティロープライストストックファンド(常任代理人株式会社三菱UFJ銀行)6.56%、日本カस्टディ銀行(信託口)4.28%、日本カस्टディ銀行(リソナ再信託分・北越コーポレーション退職給付信託口)3.94%、大王製紙3.09%、NIPPON ACTIVE VALUE FUND PLC2.87%、NAVF SELECT LLC2.87%

(2025年12月末現在)

ザ・パックグループ（連結子会社9社）

ザ・パック株式会社

本社(大阪)



東京本社ビル



大阪工場



奈良工場



東京工場



茨城工場



(国内4工場においてISO9001、ISO14001認証取得済)

国内子会社 ※2026年1月1日付で日幸印刷株式会社を吸収合併しました

(株)京浜特殊印刷



日幸印刷(株)



(株)パックタケヤマ



西日本印刷工業(株)



カンナル印刷(株)



(株)光パックス石川



海外子会社

中国連結子会社

特百嘉包装(常熟)有限公司

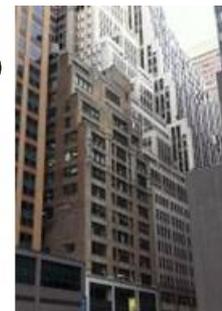


特百嘉包装(上海)有限公司

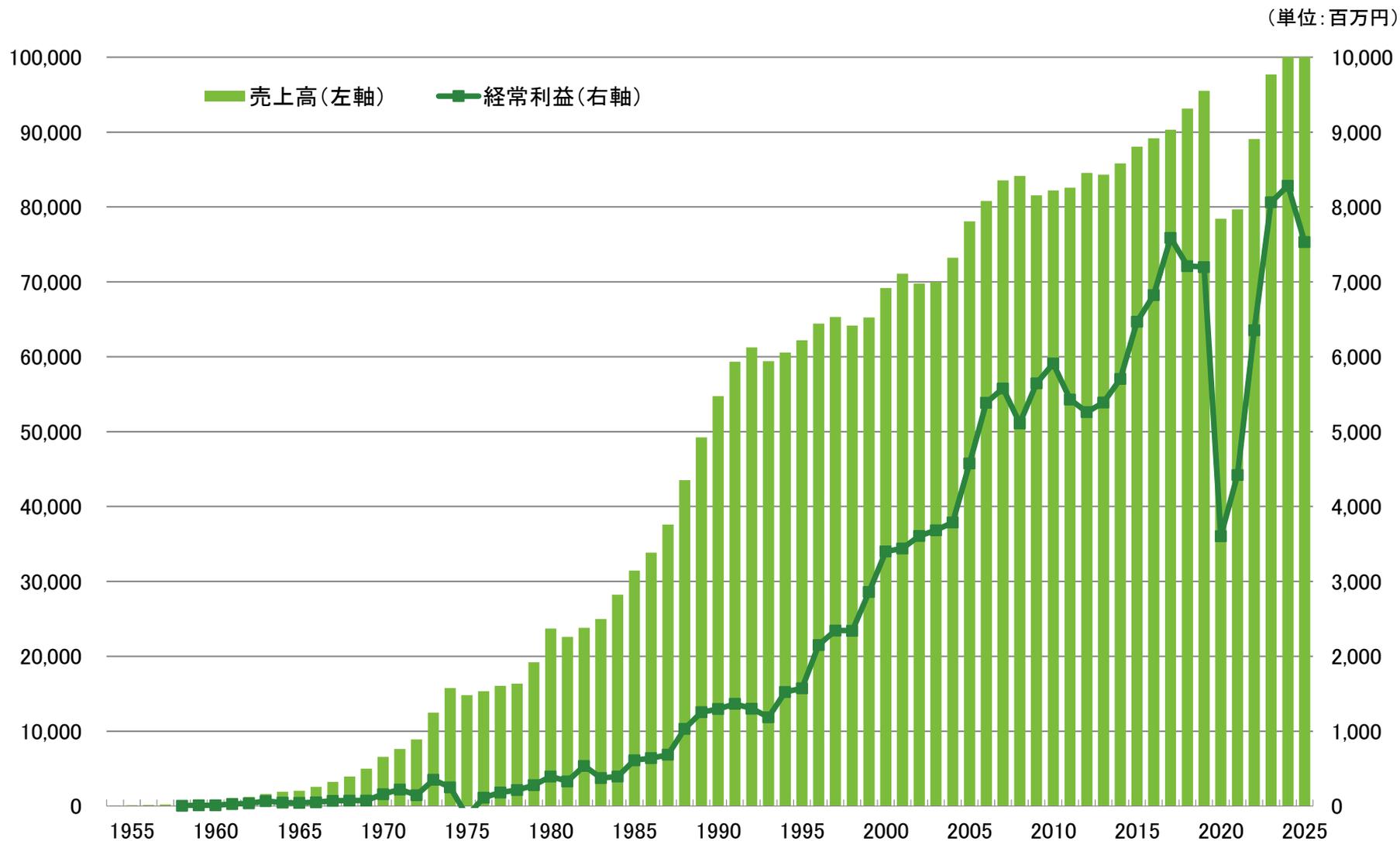


米国連結子会社

ザ・パックアメリカ(NY)



売上高・経常利益の推移(連結) 会社設立(1952年)-2025年



主な取り扱い製品の流通構造

消費者

主な販売先



百貨店



コンビニ



スーパー・
ドラッグストア



アパレル



医薬品・化粧品



雑貨



食品



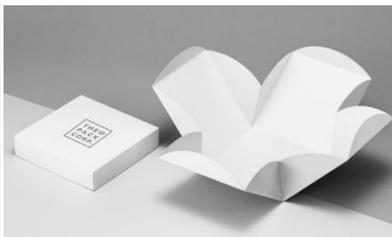
家電・住設



EC(通販)

etc.

 ザ・パック株式会社



原材料メーカー



原紙・原反



インク



糊

その他
部材

etc.

ザ・パックの強み(1)

強み

1.幅広い顧客層



アパレル・雑貨



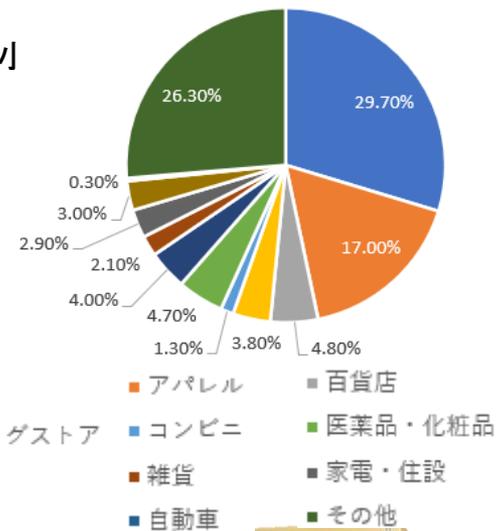
通販

内容

- ◆ 取引社数 約15,000社
食品・アパレル・百貨店・専門店・量販店・一般小
コンビニエンスストア・ファストフード・
アパレル・家電メーカー・通販 etc.

⇒ 特定の業界不況の影響を
受けにくい顧客基盤

(2025年12月末現在)



食品産業



生活産業

ザ・パックの強み(2)

強み	内容
2.パッケージの トータルソリューション 提供	<ul style="list-style-type: none"> ◆ (サポート体制の充実) 営業・リサーチ企画部門・設計やデザイン部門が協同提案 ◆ (ノウハウ・情報量の充実) 国内最大規模のパッケージラボを運営 <p>⇒ <u>総合パッケージメーカーならではのソリューションを提供</u></p>



ザ・パックの強み(2)

■パッケージラボ

東京・大阪・福岡の3拠点に、パッケージに特化したショールームを常設。

世界のパッケージを収集・展示しており、パッケージのトレンド把握や、パッケージの仕様決定にお役立て頂ける施設。
年間約1,200企業2,300人のお客様に来訪いただいている。



パッケージラボ東京 (881㎡)



パッケージラボ大阪 (990㎡)



パッケージラボ福岡 (89㎡)



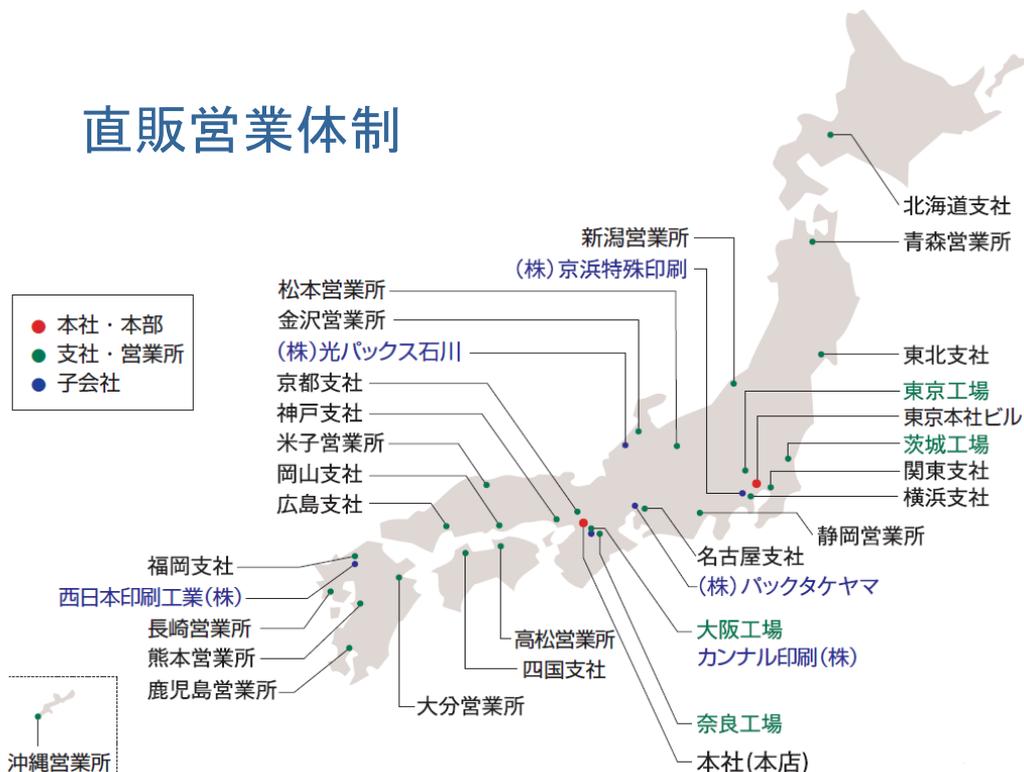
ザ・パックの強み(3)

強み

内容

3.製造・販売・物流一貫体制

直販営業体制



国内4工場・グループ会社・外部委託工場との協力により
災害・事故などの発生時のリスクマネジメントにも対応

当社グループ

印刷工場



化成品工場



段ボール工場



製造

紙袋工場



紙器工場



全国各地の直販営業体制

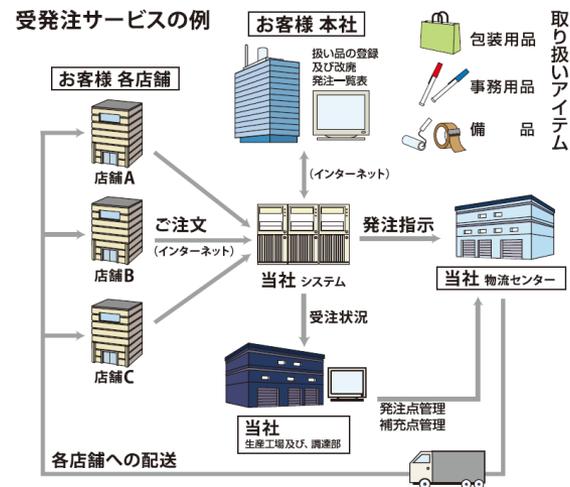
物流

製品

全国各地の顧客

ザ・パックの強み(4)(5)

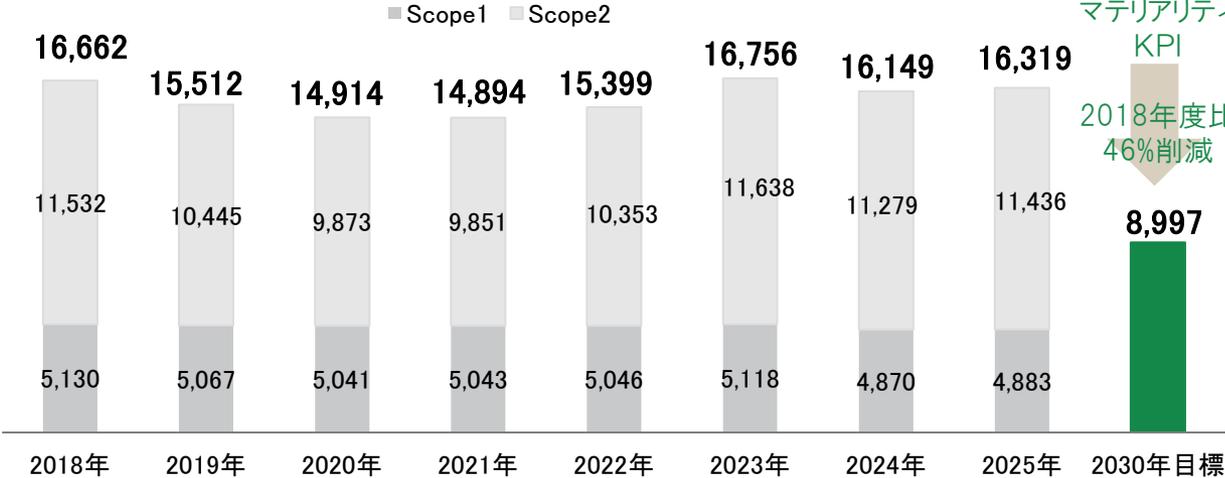
強み	内容
<p>4.品質管理体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 国内4工場にて、品質マネジメントシステムの国際規格ISO9001認証を取得 ◆ 東京工場・大阪工場にて <ul style="list-style-type: none"> ⇒ <u>食品安全マネジメントシステムの国際規格FSSC22000認証を取得</u> ◆ 品質方針「品質強化によるCSの向上」の組織浸透 ◆ 協力会社、グループ会社との品質会議を実施。サプライチェーン全体で品質強化に取り組んでいる。
<p>5.ITを駆使した顧客とのネットワーク</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 包装資材や備品等をまとめて納品 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ <u>一括納品による物流の合理化でCO₂削減にも貢献</u> ◆ Web発注『Pack-Web』提供 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ <u>顧客の発注業務を合理化</u>



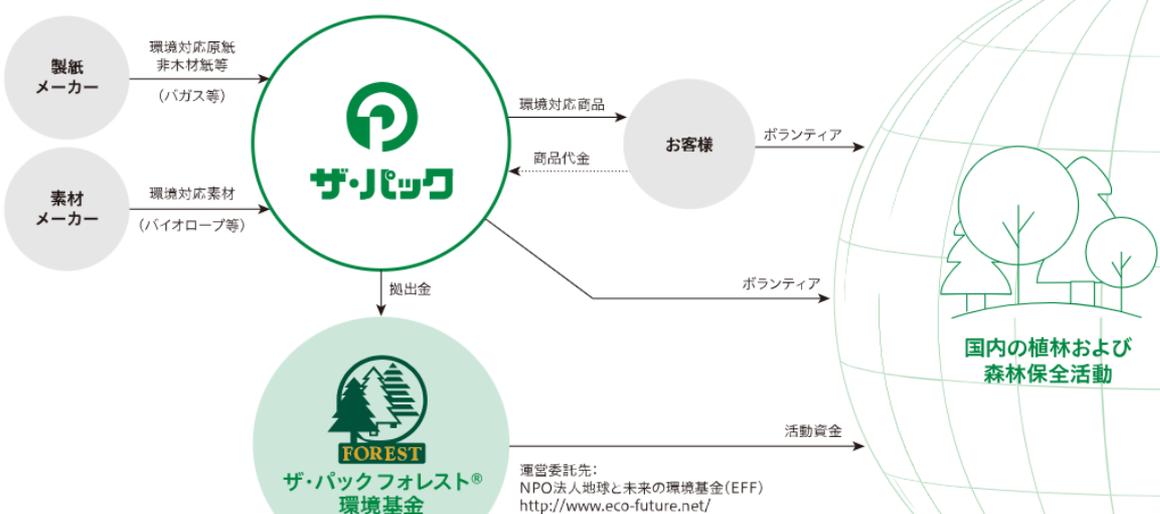
ESGへの取り組み(1)

取り組み	内容
<p data-bbox="108 287 571 448">1.社会貢献活動を支援するパッケージ企画提案</p> <p data-bbox="127 991 278 1076">SDGsとの 関連性</p> <div data-bbox="117 1115 529 1240"></div>	<p data-bbox="629 279 1843 319">◆ 環境に優しい次世代型の耐油コーティング「カISONAL[®]加工」の販売開始</p> <p data-bbox="697 362 1818 522">食品テイクアウトパッケージの需要増と環境負荷低減のニーズに対応すべく、海藻由来の原料を使用したコーティング剤を開発しました。紙製トレーにコーティングすることで、従来品と同等レベルの耐油性効果がある、PFAS・プラスチックフリーの紙製一次容器を実現します。</p> <p data-bbox="697 576 1551 654">プラスチック製食品テイクアウトパッケージの代替品として、食品市場のニーズに応じていきます。</p> <div data-bbox="697 708 1344 1115"></div> <p data-bbox="1392 791 1862 1048"><製品の特長> ・安全性が高い海藻由来の原料を使用 ・プラスチックフリー&生分解性 ・PFAS・スチレン・アクリルフリー ・従来の耐油トレーと同等レベルの耐油性を有す</p> <p data-bbox="703 1193 1340 1265">製品の詳細はブログにてご確認いただけます https://www.thepack.co.jp/blog/products/a197</p> <div data-bbox="1383 1153 1499 1265"></div>

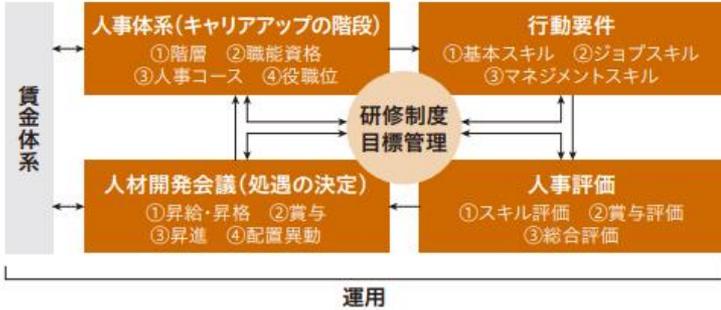
ESGへの取り組み(2)

取り組み	内容																																								
<p data-bbox="79 282 490 329">2.環境への取り組み</p> <div data-bbox="102 906 251 989">SDGsとの 関連性</div> 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 国内4工場にてISO14001の認証を取得 ◆ PRTR法対象物質の取扱量や産業廃棄物の削減を推進 ◆ 環境対応商品の開発やFSC®商品の販路拡大に取り組む ◆ 海洋プラスチックごみの削減につながる革新的な代替品の開発と普及を促進する経済界全体として官民一体となった活動を行う「クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス」の幹事会員として活動 ◆ 再エネファンドへの出資により、再エネの普及・拡大を後押し ◆ TCFDに沿った情報開示を行い2030年度までのCO₂排出量削減目標を策定 ⇒CO₂排出量 (Scope1+2)を2018年度比で46%削減する <div data-bbox="909 753 1317 786">CO2排出量 (Scope1+2) 推移</div> <div data-bbox="1630 761 1740 779">(単位:t-CO2)</div>  <table border="1" data-bbox="620 821 1845 1299"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>Scope1</th> <th>Scope2</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2018年</td> <td>5,130</td> <td>11,532</td> <td>16,662</td> </tr> <tr> <td>2019年</td> <td>5,067</td> <td>10,445</td> <td>15,512</td> </tr> <tr> <td>2020年</td> <td>5,041</td> <td>9,873</td> <td>14,914</td> </tr> <tr> <td>2021年</td> <td>5,043</td> <td>9,851</td> <td>14,894</td> </tr> <tr> <td>2022年</td> <td>5,046</td> <td>10,353</td> <td>15,399</td> </tr> <tr> <td>2023年</td> <td>5,118</td> <td>11,638</td> <td>16,756</td> </tr> <tr> <td>2024年</td> <td>4,870</td> <td>11,279</td> <td>16,149</td> </tr> <tr> <td>2025年</td> <td>4,883</td> <td>11,436</td> <td>16,319</td> </tr> <tr> <td>2030年目標</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>8,997</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1696 818 1856 986">マテリアリティ KPI 2018年度比 46%削減</p>	年	Scope1	Scope2	合計	2018年	5,130	11,532	16,662	2019年	5,067	10,445	15,512	2020年	5,041	9,873	14,914	2021年	5,043	9,851	14,894	2022年	5,046	10,353	15,399	2023年	5,118	11,638	16,756	2024年	4,870	11,279	16,149	2025年	4,883	11,436	16,319	2030年目標	-	-	8,997
年	Scope1	Scope2	合計																																						
2018年	5,130	11,532	16,662																																						
2019年	5,067	10,445	15,512																																						
2020年	5,041	9,873	14,914																																						
2021年	5,043	9,851	14,894																																						
2022年	5,046	10,353	15,399																																						
2023年	5,118	11,638	16,756																																						
2024年	4,870	11,279	16,149																																						
2025年	4,883	11,436	16,319																																						
2030年目標	-	-	8,997																																						

ESGへの取り組み(3)

取り組み	内容										
<p>3.ザ・パックフォレスト® 環境基金活動 (森林保全活動)</p> <p>SDGsとの 関連性</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 2000年に独自の「ザ・パックフォレスト®環境基金」を設立し、植林地にて植樹や間伐を行うボランティア活動を開始。現在、植林地は全国に10カ所 ◆ 環境対応商品の販売額の一部をフォレスト環境基金として拠出 ◆ 運営はNPO法人「地球と未来の環境基金(EFF)」に委託 社員だけでなく、顧客や一般の方と協働で森林保全活動を実施  <p>ザ・パックフォレスト®環境基金</p> <p>運営委託先: NPO法人地球と未来の環境基金(EFF) http://www.eco-future.net/</p> <table border="1" data-bbox="1410 1035 1816 1270"> <tr> <td>拠出基金額</td> <td>2.16億円</td> </tr> <tr> <td>植樹本数</td> <td>23,693本</td> </tr> <tr> <td>参加者合計</td> <td>7,831人</td> </tr> <tr> <td>植樹面積</td> <td>19.57Ha</td> </tr> <tr> <td>CO₂吸収量</td> <td>2,258.87t</td> </tr> </table> <p>(2025年12月末時点累計)</p>	拠出基金額	2.16億円	植樹本数	23,693本	参加者合計	7,831人	植樹面積	19.57Ha	CO ₂ 吸収量	2,258.87t
拠出基金額	2.16億円										
植樹本数	23,693本										
参加者合計	7,831人										
植樹面積	19.57Ha										
CO ₂ 吸収量	2,258.87t										

ESGへの取り組み(4)

取り組み	内容
<p>4.人材育成と職場づくり</p> <p>SDGsとの 関連性</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 社は「愛し愛され」、経営理念「人を大切に 人を育てる経営」の考えに則り、人材育成、育児・介護支援、雇用の安定、その他社員の福利厚生に取り組む ◆ 「健康経営優良法人2025」に認定(7年連続認定) 健康診断・二次検診の徹底、禁煙チャレンジ、ヘルスケア研修・ストレスチェックの運用など ◆ スキルアップにつながる評価・支援制度の導入・運用 タレントマネジメントシステムによる社員情報の一元管理、人材開発会議による公平で適切な評価、DX研修、キャリアデザイン研修、階層別研修の実施、スキルアップ支援制度による資格取得の経済的支援など <div style="text-align: right;">  </div> <div style="text-align: center; margin: 20px 0;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 多様な人材の活用 女性活躍推進、包括短時間勤務制度、継続雇用社員・パート社員の処遇改善 男性社員への育児休業など取得の推進、障がい者雇用を目的にした「海南事業所」開設、紹介採用制度の導入など

ESGへの取り組み(5)

取り組み	内容
<p>5.社会貢献活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「環境教育」の一環として、東大阪市と協働し小学校で「モノづくり体験教室」実施 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 公益財団法人関西フィルハーモニー管弦楽団の後援 ◆ 吉野山保勝会への寄付 ◆ 子供地球基金への賛同 ◆ 中学生職場体験学習への協力
<p>SDGsとの 関連性</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="127 1139 255 1268"> <p>4 質の高い教育を みんなに</p>  </div> <div data-bbox="268 1139 396 1268"> <p>10 人や国の不平等 をなくそう</p>  </div> <div data-bbox="409 1139 537 1268"> <p>11 住み続けられる まちづくりを</p>  </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ おしごとフェアへの講師派遣 <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>おしごとフェアは奈良県内の里親家庭、ファミリーホーム、児童養護施設で暮らす中学生を対象としたイベント。働く大人の話を通して、自分にあった進路や職業を見つけるきっかけにすることを目的としている</p> </div> </div>

注意事項

本資料は、2025年12月期決算の業績および経営方針に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘することを目的としたものではありません。又、本資料は2025年12月末日現在のデータを基に作成しております。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性・完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後予告なしに変更することがあります。

IRに関するお問い合わせ先

ザ・パック株式会社 IR広報室

〒151-0063東京都渋谷区富ヶ谷2-8-4

TEL: 03-3469-1221 FAX: 03-3469-1353 メールアドレス: koho@thepack.co.jp